

#### (Do) 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要		
	(1)事務事業の概要（事務事業の全体像）	
	(2)担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
手段	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るためには、身近な地域の人々との交流や日常の安否確認を通して、できるだけ早期に問題を発見し、必要な支援を迅速かつ効果的に行っていく必要がある。</p> <p>高齢者見守りネットワーク事業とは、平成24年10月に市内外52事業所と9つの関係機関の協力の下に発足した事業であり、地域住民や関係機関・協力事業所の日頃からの活動や仕事のなかで、個人のプライバシーに配慮しながら、高齢者をさりげなく見守ることにより、高齢者の異変に気付いた時に、地域包括支援センターが連絡を受け、対応することで高齢者の孤独死を防ぐ事業である。</p>	<p>①異変のあった高齢者への支援、②協力事業所への情報提供、③新規協力事業所の検討、④協定調印式及び事業報告会の開催、⑤広報掲載、⑥ホームページ掲載</p>

## (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
①異変のあった高齢者への支援、②協力事業所への情報提供、③新規協力事業所の検討、④協定調印式及び事業報告会の開催、⑤広報掲載、⑥ホームページ掲載	高齢者の異変に関する対応件数	件	10.00	14.00	16.00	18.00	20.00
	協定調印式及び事業報告会開催回数	回	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	協定締結済協力事業所数	箇所	68.00	87.00	90.00	93.00	96.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
異変が生じ、安否確認を要する高齢者	高齢者の異変に関する情報提供受付件数	件	10.00	14.00	16.00	18.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
孤独死を防止する	高齢者の無事が確認できた割合	%	80.00	92.90	93.00	93.50	94.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投 入 量	事業費 内訳	国庫支出金 千円	○	○	○	○	○
		県支出金 千円	○	○	○	○	○
		地方債 千円	○	○	○	○	○
		使用料・手数料 千円	○	○	○	○	○
		その他 千円	○	○	○	○	○
		一般財源 千円	○	34	29	29	○
		事業費計(A) 千円	○	34	29	29	○
		正規職員従事人数 人	6,00人	6,00人	6,00人	6,00人	6,00人
人 件 費	述べ業務時間 時間	88.00	226.00	230.00	235.00	240.00	
	人件費計(B) 千円	255	656	667	682	696	

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul> 			

事務事業名	高齢者見守りネットワーク事業	事務事業No.	20602000014	所属課	高齢福祉課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成23年度、桜川市の高齢化率は26.6%で、将来推計において高齢化が進む見込みであり、また、65歳以上の高齢者がいる世帯においても7,691世帯と、総世帯数の56.5%を占めており、全国平均で19.2ポイント、茨城県平均でも16.4ポイントと大きく上回っていた。更に、ひとり暮らし高齢者が亡くなっているところを、近所の方等に発見されることがあり、今後ますます高齢者の孤独死が増えることが予想されることから、防止策を図るために本事業を開始した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 広報やホームページ等で高齢者見守りネットワーク事業を知った民間業者から協力を望む声が寄せられている。					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評価項目

①政策体系との整合性		(この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)			
目的妥当性	結びついている	高齢者をさりげなく見守りながら、早期に異変を発見し対応することは、孤独死対策につながり、高齢者福祉の推進に結びつく。			
	妥当である	地域や市内外の事業所でネットワークを構成し、高齢者の見守りに取り組むことから、市で行うことは妥当である。			
③ 成果の向上余地	向上余地がある	高齢者の孤独死を防止する事業であるため、本来成果を見る事業ではないが、協力事業所との情報交換を密にすることで、成果の向上余地はある。			
④ 廃止・休止の成果への影響	影響有	高齢者が安心して地域で生活を送れなくなり、高齢者の孤独死対策が衰退してしまう。			
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性	(他に手段がある場合)➡	(類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) 具体的な手段、事務事業名 徘徊高齢者SOSネットワーク事業(桜川市では未実施)			
	連携ができる	高齢者が徘徊等により行方不明となった際の早期発見及び保護に努める徘徊高齢者SOSネットワーク事業を実施した場合、既存の高齢者見守りネットワークを活用することができると思われる。			
⑥事業費・人件費の削減余地	削減余地がない	市内外の事業所による善意で事業が実施されているため、事業費は需用費のみであり削減余地はない。			
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	公正・公平である	市内の不特定多数の高齢者を、無償でさりげなく見守る事業であるため受益者は公正・公平である。			

## 【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 □ 適切 ③効率性 ■ 適切 ④公平性 ■ 適切		□ 見直し余地あり ■ 見直し余地あり □ 見直し余地あり ■ 見直し余地あり																							
		➡ 高齢者の異変に関する情報提供が14件あり、素早く安否確認を行った。12月に協定調印式及び事業報告会を開催し、調印式では新たに19業者と協定を結び、協力事業所は計87事業所になった。報告会では生協・消費生活センター・警察からそれぞれ見守り活動に役立つ講話いただき内容を充実させた。開催後、広報・HP・新聞記事掲載により事業周知を図った。																							
(3) 今後の事業の方向性		(複数回答可) □ 終了 ■ 繼続 → ■ 改革改善を行う → (□ 目的の再設定 ■ 有効性の改善 □ 統廃合ができる □ 効率性の改善 □ 公平性の改善 ■ 連携ができる) □ 廃止 □ 休止 → □ 現状維持																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 高齢者見守りネットワーク機能の充実を図り、高齢者虐待や認知症高齢者の徘徊等の問題に対応できるように検討していく。 事業報告会の開催時期については、関係者が集まりやすく、日常業務に支障がないよう配慮する。 高齢者見守りネットワーク機能の充実を図る上で、協力事業所の負担が生じないように配慮する。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"><thead><tr><th></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><td>成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr></tbody></table> (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 (5) コスト削減優先度評価結果 (8)					コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持				低下	×	×	×
	コスト																								
	削減	維持	増加																						
成果	向上	○																							
維持																									
低下	×	×	×																						

## 【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)			
課長確認後の評価		確認欄			
B	A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う）	C：終了、廃止、休止	D：2次評価へ提出		